

もつけ
しか
のかわ
み
ぶ
プレス
SHIKAMIMI PRESS

新しい視点で、3つの街を再発見。
下野市、上三川町、壬生町で過ごす
自分らしい時間。

3市町マップ付き



1 壬生町

大人の知的好奇心を満たす、バス旅へ。

大人になると
好奇心はどんどん無くなっていく…。
誰かがそんなことを言っていたが、
いや、むしろその逆で
歳を重ねれば重ねるほど高まってくる。
好きなものについて、さらに深く知る楽しさ。
知らなかったことを理解する、大きな喜び。
想像もしなかった点と点が繋がった時の感動。
好奇心は、人生を豊かにし
有意義なものにしてくれる。
バスで行く、壬生町への旅。
行きなれた街も、見慣れた風景も
車では気付かなかった、
新たな魅力を知ることになるだろう。



時間を忘れて、
夢中になれる場所へ。

日本でも珍しい「おもちゃのまち」という地名がある壬生町。「日本一かわいい!駅名ランキング」でも1位に輝くほど目を引く地名だが、魅力はその地名に由来される施設だ。壬生町おもちゃ博物館やバンダイミュージアムなど、少し調べただけでも、大人ごころをくすぐる見所に満ちていた。大人も子供も楽しめ…いや、展示物によっては子供より私の方が長く居座る自信がある。それほど、懐かしさと新たな発見があった。大人に

壬生町おもちゃ博物館 おもちゃのまち駅▶レンタサイクル 20分



中世のお城をイメージした建物の中には、貴重なおもちゃが約9,000点。おもちゃという名がついているので、子供のための施設を想像しそだが、大人も魅了される博物館。昭和30年代のブリキのおもちゃから近年のものまで多数展示されており、懐かしさだけでなくデザインの変遷なども知ることができる。また、別館2階には、北関東最大級のジオラマを持つ「鉄道模型の部屋」。ジオラマには世界遺産の建築物が配置され、その中を走る鉄道模型の姿は美しく爽快。マニアではなくとも、ずっと立ち止まって眺めていたくなるほど。

Information A-2

場所 栃木県下都賀郡壬生町国谷 2300
電話 0282-86-7111
開館時間 9:30~16:00
定休日 毎週月曜日、年末年始
※月曜が祝日・振替休日の場合は翌日
入館料 おとな(高校生以上) 600円 子ども(4歳~中学生) 300円

なった今だからこそ堪能できる、なんとも贅沢な空間だ。壬生町には、妻の好きな遺跡や城跡などの史跡が多い。“次は二人で来ようかな”。帰りの車窓を眺めながらそう思った。

●グルメ in みぶ
Gourmet in Mibu



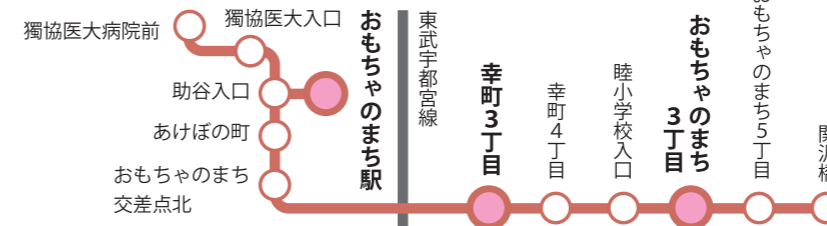
東京の赤坂・銀座・新宿で修業を積んだ店主が、平成8(1996)年にオープンさせた「和彩香房 割烹山水亭」。カウンター席以外は座敷席なので、ゆったりとくつろぎながら食事を楽しめる。素材の質、鮮度にこだわった懐石料理がベースだが、気

かっほう さんすいてい
割烹 山水亭



になるのは店主の創作料理。食の激戦区で修行を積んだ店主によるメニューはユニークで美味しさは折り紙付き。人気の「花かご御膳」は、刺身や煮物などが楽しめるが、季節によって中身を変えているので、常連客でも飽きのこない配慮が嬉しい。

Bus Route ●ゆうがおバス



おもちゃのまちバンダイミュージアム おもちゃのまち3丁目 下車

エントランスで出迎えてくれるのは、原寸大のRX-78ガンダムの胸像。これだけでも圧倒されるが、館内には厳選されたレトロで貴重な玩具から現代の玩具まで約10,000点ほど展示されている。中でも館内にある「エンジンミュージアム」は必見。約3,000点ある発明品の



から厳選したコレクションが展示されており、ほとんどが現在でも稼働する状態で保存されている。エンジン物づくりへの情熱、そして世界の産業にどれほど貢献してきたか。大人ならではの視点で興味深く鑑賞できるだろう。

Information B-1

場所 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち 3-6-20
電話 0282-86-2310
開館時間 10:00~16:30※入館は16:00まで
定休日 毎週水曜日・年末年始
入館料 おとな(高校生以上) 1,000円 子ども(4歳~中学生) 600円 65歳以上の方 800円

幸町3丁目 下車

Information A-2

場所 栃木県下都賀郡壬生町いずみ町 8-9
電話 0282-82-0531
開館時間 11:30~14:00 17:00~22:00 (L.O./21:00)
定休日 日曜日(10名以上で営業※予約制)

バス旅ムービー配信中!

しつかみ プレス TV
SHIKAMIMI PRESS TV

当ページの旅の様子を、オンライン動画でご覧いただけます。

2 下野市

あの頃の記憶がよみがえる、寄り道旅。

思い出深い、あの日の記憶を呼び覚ます場所へ。

バスに乗車していると、ハンドルを持たない安心感から景色をゆっくりと楽しむことができる。“よく学校帰りにこの店に立ち寄ったな”。そんなノスタルジックな思い出にひたれるのもバス旅ならではの。下野市は3つの町が合併したことにより誕生した街。そのため様々な表情を織り成し、一人ひとりに多彩な印象を与えてくれる。姉妹都市との関係から生まれたグリムの森は子供の頃に読んだ童話を、まだ新しい大松山運動公園では頑張った部活動を思い出させてくれる。立ち寄った高砂食堂ではハイカラと言われていた時代を想起させてくれた。昭和、平成、令和。3つの時代に出来た場所に、小学生の娘は何を感じたかな。車窓に映る寝顔を眺めながら、私自身が感傷にひたっていた。

グリムの森

グリムの森入口 下車



グリム兄弟の出身地であるドイツ・ヘッセン州にあるシュタインブリュッケン（現ディーツヘルツタール）と姉妹都市となったことから誕生したグリムの森。自然あふれる木々やドイツをイメージした建物が一体となったこの公園は、まさにグリム童話の世界が広がっている。子供達は遊具で思いきり遊び、大人は子供たちのあふれる笑顔を見ながら気持ち良く散歩。令和3年11月には、宇都宮市で人気のカフェ「マツガミネコーヒービルディング103」がオープンした。

Information

B-2

場所	栃木県下野市下古山747
電話	0285-52-1180
開館時間	9:00~19:00 (4~9月は20:00まで)
定休日	毎週火曜日、毎月末日、年末年始(12/28~1/4) ※火曜日・月末日が土・日曜、祝日の場合は開館し、その翌日が休館日

大松山運動公園

石橋駅▶レンタサイクル 15分

運動公園という名の通り、陸上競技場やテニスコート、野球もできるグラウンドなど、本格的な施設が充実している大松山運動公園。他にも、青空のもとでお弁当を楽しむ大きな広場。桜や緑、紅葉と、季節ごとの自然を

堪能しながら歩ける散歩道。そして図書館が公園内に併設されているなど、実に、様々な目的に合わせて利用することが可能。土日、平日問わず、幅広い年齢層が訪れている。



Information

B-2

場所	栃木県下野市大松山1-7-1
開園時間	8:30~21:30 (年末年始を除く)
定休日	年末年始及び施設管理日

「目標を設定し、より早く効率的に達成する」社会人になると、よく聞くフレーズだが、余暇の過ごし方に当てはめようすると、意外と味気ないものになってしまうだろうか。笑顔であふれた人たちが見えたから、その公園に、ふらっと入ってみる。建物の外観に惹かれたので、思いきって立ち寄ってみる。その時の感情を優先した方が楽しいことは、意外に多い。バスで行く、下野市への旅。寄り道、道草、回り道。予定になかった出会いこそ、贅沢な旅になるはずだ。



石橋駅西口 からくり時計

Gourmet in Shimotsuke

高砂食堂



石橋待合所 下車

Information

B-2

場所	栃木県下野市石橋 421
電話	0285-53-0122
開館時間	昼 / 11:30 ~ 14:00 (L.O 13:30) 夜 / 17:30 ~ 21:00 (L.O 20:15)
定休日	日・月曜日

市内、県内だけでなく、近隣の県からも訪れるほど、多くの人に愛されている高砂食堂は、令和2(2020)年に創業90周年を迎えた昔ながらの食堂だ。ヒレカツやチキンカツ、ロースカツなど揚げ物をメインとした定食が人気で、ランチメニューには、ポ

テトサラダ、ハム、目玉焼き、冷奴も付いてくるという驚きのボリューム。店内には有名人のサインがあり、人気の高さが伺える。

Bus Route

バスルート ●ゆうがおバス



バス旅ムービー配信中!

当ページの旅の様子を、オンライン動画でご覧いただけます。

郷愁をかきたてる、
風情あふれる旅。



何度でも行きたくなる、物語がある場所へ。

初めて訪れたのに、懐かしく感じる場所がある。遙か昔から受け継いできた記憶が呼び戻されたのかもしれない。上三川町は旧石器時代や縄文時代の生活の跡が確認されるほど、古代から栄えていたとされる地。白鷺神社は1200年以上の歴史があり、主祭神が日本武尊と聞いて親近感が湧いた。授業で学んだ名前は覚えているものだ。毎年花見に来ている上三川城址公園は約350年間にわたり栄えた城跡。所々、その頃の名残がありタイムスリップ感を味わえた。40年も続くお食事処うえ乃家は今でも変わらないメニューで目にも舌にも満足させてくれる。そういえば隣で座る妻と初めて出会った時、なぜか既視感があった。過去の自分が会っていたのか?柄にもなくロマンチックな気分になっていた。

しらさぎじんじや 白鷺神社

白鷺神社前 下車



一過性の流行で終わらず、
長期にわたり続いているものには、
必ず普遍的な価値が備わっている。
木造建築には、どんなに年月が経ったとしても、
木が持つ美しさを感じることができ、
咲き誇る季節の花々には、
決して飽きることはなく、毎年感動する。
私たちは新しいものに惹かれがちだが、
実はいつまでも変わらぬものに、
心を揺さぶられることが多い。
バスで行く、上三川町への旅。
誰もが心に持つ郷愁を鮮やかに
ずっと呼び覚ましてくれるだろう。

白鷺神社は、日本が平和で豊かな国となるよう、全国を旅したと言われる日本武尊をお祀りしている神社。境内には腰に携えていたと言われる平和の剣があり、全長はなんと12.2m。日本一の長さを誇り、悪運・悪縁を断ち切り、開運・良縁をもたらすとされている。他にも縦4m×横8mの大きな絵馬があり、願いが叶う幸せの大絵馬として人気を誇っている。新しい未来を切り開くためにも、ぜひ参拝したい神社だ。

Information

場所 栃木県河内郡上三川町しらさぎ 1-41-6
電話 0285-56-4553

D-2

上三川城址公園

大町 下車



建長元(1249)年から慶長2(1597)年まで、約350年にわたり栄えた中世の平城、上三川城。その城跡を利用した美しい公園は、芝生広場を中心に土塁、お堀、遊歩道で囲まれており、歴史情緒に満ちている。公園通りには昔ながらの商店街があり、コーヒーやコロッケなどの食べ物をテイクアウトして、公園で食べるのもオツ。

Information

D-2

場所 栃木県河内郡上三川町上三川5078

●グルメ in かみのかわ Gourmet in Kaminokawa

お食事処 うえ乃家

峰町 下車



手間を惜しまない手作りの味が人気の定食屋さん。平成30(2018)年にかみのかわブランドにも認定され、上三川町のご当地グルメとして知られている黒チャーハンが人気だ。同町内には黒チャーハンを提供する店は他にもあるが、初めてメニューに取り入れたのがうえ乃家である。他にも丼もの、定食、セット、そば・うどん等、メニューはバラエティ豊か。そのどれもが美味しく、毎日でも通いたくなるほど。

Information

C-2

場所 栃木県河内郡上三川町上三川 4388-5
電話 0285-56-8509
開館時間 11:00 ~ 14:00 17:00 ~ 21:00
定休日 毎週水曜日・臨時休業あり

Bus Route

バスルート

●石橋～真岡線
●上三川車庫～駒生



バス旅ムービー配信中!

しつけ
かみのかわ
みぶ
プレスTV
SHIKAMIMI PRESS TV

当ページの旅の様子を、オンライン動画でご覧いただけます。

しかみみ通信

#しかみみ通信 をつけて投稿しよう！



道の駅しもつけの程近く、古墳もある都市公園。オートキャンプ場やドッグラン、遊具など、だれでも楽しめる憩いの場です。

#下野市 #三王山ふれあい公園 #ドッグラン #オートキャンプ場 #しかみみ通信

C-3



桜の名所として有名な天平の丘公園内にある古民家カフェ。自然の中で散策を楽しんだ後は、ここでほっと一息。

#下野市 #天平の丘公園 #10picnictable #桜 #カフェ #しかみみ通信

A-3



からくり時計が目印の石橋駅。JRやバスの乗降のポイント。駅前の飲食店でお気に入りを見つけるのも楽しい。

#下野市 #石橋駅 #グルメ #ゆうがおバス #石橋～真岡線 #しかみみ通信

B-2



色鮮やかに彩られたイルミネーションは、まさにグリム童話の幻想的な世界そのもの。下野市の冬の風物詩です。

#下野市 #グリムの森 #イルミネーション #入場無料 #しかみみ通信

B-2



おもちゃとは切っても切れない歴史を持つ壬生町。その象徴ともいえるのがこちらの“遊べる”博物館。

#壬生町 #壬生町おもちゃ博物館 #遊べる #キャラクターショー #鉄道模型 #しかみみ通信

A-2



緑豊かな公園の中を碓氷川が流れ、せせらぎを聞きながら整備された遊歩道をウォーキング。上三川のヒーリングスポット。

#上三川町 #碓氷川緑地公園 #四季 #野鳥 #ホタル #しかみみ通信

D-2



風車が回り、小川が流れるメルヘンチックな公園。グリムの世界を楽しみながら寛ぐことができます。天気の良い日は日光連山を一望。

#下野市 #姿川アメニティパーク #グリム童話 #散歩 #しかみみ通信

B-2



災害に強い庁舎として2016年に開庁。たっぷり日光が降り注ぎ、明るく活気あるデザインです。市民広場ではイベントが開催されることも。

#下野市 #新庁舎 #デザイン #市民広場 #しかみみ通信

B-3



本格的な陸上競技場から多目的グラウンド、テニスコート、お子さんが遊べる広場までが勢ぞろい！図書館も併設。

#下野市 #大松山運動公園 #ウォーキング #こもれび広場 #カンビくん #しかみみ通信

B-2



町内でとれた農産物、かみのかわブランド認定品など、地元の美味しいものが勢揃い。

#上三川町 #上三川いきいきプラザ農産物直売所 #新鮮 #野菜 #かみのかわブランド #しかみみ通信

C-2



生産量日本一を誇る下野市のかんびょう。「ふくべ」とよばれる夕顔の実を、機械で回転させながら帯状にむいていきます。

#下野市 #かんびょう #ふくべ #夕顔 #カンビくん #しかみみ通信

A-3



日光西街道沿いに建つ、国登録の有形文化財。個人宅なので通常は非公開です。

#壬生町 #松本家住宅群 #有形文化財 #日光西街道 #しかみみ通信

A-3



プールやジム、児童館から、図書スペース、レストランまで、上三川町を代表する施設。カルチャー教室や親子で楽しめるイベントも。

#上三川町 #上三川いきいきプラザ #フィットネス #遊戯室 #しかみみ通信

C-2



姿川沿いに続く桜並木。菜の花とのコントラストがとってもきれい。気持ちの良い春のウォーキングを楽しもう。

#下野市 #姿川アメニティパーク #桜並木 #ウォーキング #しかみみ通信

B-2



提灯にろうそくを灯し、夏の夜を幻想的に照らすイベント。天平の丘公園にて、例年8月下旬に開催されます。

#下野市 #燈籠会 #とうおうえ #天平の丘公園 #幻想的 #しかみみ通信

A-3



3ヘクタールの広々とした畑に咲き誇る10万本のひまわり。様々なイベントも行われ、上三川の夏を彩る風物詩。

#上三川町 #サンフラワー祭り #ひまわり #夏 #日産自動車 #しかみみ通信

D-2



新4号国道沿いにある道の駅しもつけでは、地元でとれた新鮮野菜や食材を生かした各種グルメが楽しめます。

#下野市 #道の駅しもつけ #グルメ #イベント #滑り台 #しかみみ通信

C-3



北関東最大級の火鍋で、地元の野菜はもちろん、生産量日本一の「かんびょう」もふんだんに入れて作られます。ぜひ一度食べに来て！

#下野市 #天平の芋煮会 #3000食 かんびょう #11月3日 #ステージ #しかみみ通信

A-3

みんなで魅力を発掘、発信！



ShikamimiPress

蘭学通りがふくべのランタンで飾られるハロウィンナイト。みんな思い思いの仮装を楽しんでいます。

#壬生町 #ふくべランタン #ハロウィンナイト #仮装コンテスト #しかみみ通信

A-2



ShikamimiPress

毎年春になると115匹の鯉のぼりが勇壮な姿を見せてくれます。ちなみに115匹は「いい子」に因んでいるのだとか。

#壬生町 #壬生町総合公園 #歴史 #雪 #冬 #しかみみ通信

A-2



ShikamimiPress

地元の農産物を使った上三川のご当地グルメ。極秘のソースで味付けした黒チャーハンは、県外から訪れるファンも多い。

#上三川町 #黒チャーハン #ソース #卵 #グルメ #しかみみ通信

A-2



ShikamimiPress

雪化粧する城址公園。いつもと違う表情で楽しませてくれます。

#壬生町 #壬生町城址公園 #歴史 #雪 #冬 #しかみみ通信

A-2



ShikamimiPress

体育館、陸上競技場、テニスコートなどの本格的な運動公園には、遊具やプールなど子供用の施設も充実しています。桜の名所としても有名。

#上三川町 #富士山公園 #運動公園 #プール #桜 #しかみみ通信

C-2



ShikamimiPress

東武宇都宮線のおもちゃのまち駅の周りには、おもちゃや蒸気機関車などワクワクするものが飾られています。

#壬生町 #おもちゃのまち駅 #蒸気機関車 #オプジェ #しかみみ通信

A-1



ShikamimiPress

壬生町総合公園の芝生広場では、子供たちの元気な声が響きわたります。大きな遊具も大人気。

#壬生町 #壬生町総合公園 #遊び場 #滑り台 #遊具 #しかみみ通信

A-2



ShikamimiPress

上三川城は350年にわたり栄えた中世の平城。現在は東西90m、南北100mほどの土塁に沿って遊歩道が整備され、町民憩いの場に。

#上三川町 #城址公園 #ウォーキング #桜 #イベント #しかみみ通信

D-2



ShikamimiPress

「日本武尊（やまとたけるのみこと）」をお祀りする白鷺神社は、厄除け・交通安全にご利益があると多くの人が参拝に訪れるパワースポット。

#上三川町 #白鷺神社 #厄除け #御朱印 #ご利益 #しかみみ通信

D-2



ShikamimiPress

3月は壬生のPR月間。その核となる3月2日を「32（みぶ）の日」として、壬生町の魅力を発信するイベントを開催しています。

#壬生町 #32の日 #イベント #みぶハイウェイパーク #壬力 #しかみみ通信

A-1



ShikamimiPress

周辺の自然とうまく調和した水と緑の公園。四季折々の花々を楽しみながら散策も。

#上三川町 #水環境神主公園 #ウォーキング #散策 #親子公園 #しかみみ通信

C-2



ShikamimiPress

熱田神宮に祀られている3種の神器のひとつである草薙の剣を模してつくられた平和の剣。その長さは12.2m！

#上三川町 #平和の剣 #白鷺神社 #翔舞殿 #ご利益 #しかみみ通信

D-2



ShikamimiPress

壬生町東雲公園から望むご来光。黒川の水面に映る朝日が荘厳です。

#壬生町 #壬生町東雲公園 #ご来光 #黒川 #縁起物 #しかみみ通信

A-2



ShikamimiPress

鬼怒川の河川敷を利用して作られた運動公園。バーベキュー広場も隣接。春には桜の花が満開になる隠れた人気スポット。

#上三川町 #桃畑緑地公園 #野球 #サッカー #桜 #しかみみ通信

D-2



ShikamimiPress

かつて壬生氏によって築かれた壬生城本丸址に作られた公園。土塁の上にはエドヒガンザクラが植えられ、桜の名所でもあります。

#壬生町 #壬生町城址公園 #エドヒガン #日光社参 #宿城 #しかみみ通信

A-2



ShikamimiPress

総合運動場の体育館に設置されているボルダリングウォール。2022年のとちぎ国体では壬生町がスポーツクライミングの会場に。

#壬生町 #ボルダリング #国体 #体を使ったチェス #しかみみ通信

A-2



ShikamimiPress

鬼怒川の河川敷に広がる広大な公園。アスレチックや遊具など小さな子供も遊べます。夏場は水遊びも。

#上三川町 #磐沼親水公園 #じゃぶじゃぶ池 #アスレチック #湿生観園 #しかみみ通信

D-1



ShikamimiPress

夜空を彩る大輪の花火。毎年8月に開催されるふるさとまつりでは町の内外からたくさんの人が押し寄せます。

#壬生町 #ふるさとまつり #花火 #夏祭り #しかみみ通信

A-2

下野市歴史探訪

悠久の歴史に想いを馳せ、「東の飛鳥」へ。

学生時代、日本史の教科書でこの国の成り立ちを知り、当時の暮らしや文化などに興味を持ったことはありませんか。私たちと同じ日本人のことも、遙か昔のことは文献や文書、絵画などの歴史資料からしか知ることはできません。だから私たちは、歴史に対して想像力を働かせ、さらに興味を募らせてしまうのでしょう。そんな歴史好きを満足させるだけでなく、さらに深く興味関心を抱かせるのが下野市なんです。

下野市は、東の飛鳥と言われていることをご存知ですか。実は下

野市内には旧石器時代から先人が生活した痕跡があり、古墳から飛鳥・奈良時代にかけての東国を代表する史跡等が多数存在しています。この地域資源としての価値は、古代文化の発祥の地である奈良県の飛鳥地方と並ぶほど。国指定の史跡が4件の他、古墳や遺跡は500カ所以上確認されています。

数ある中から「しかみみプレス」が、ぜひ行ってみたい場所をセレクト。

さあ、想像力と好奇心を持って下野市歴史探訪へ!



下野薬師寺跡

2021年3月に下野薬師寺跡として国の史跡指定100周年を迎えた下野薬師寺は、この地域を治めた古代の有力豪族下毛野氏の氏寺として飛鳥時代に建立されました。一族を代表する下毛野朝臣古麻呂は、『日本書紀』の持統3(689)年に劇的に登場します。この時すでに中央貴族の位置にあった古麻呂は、天皇の信任が厚く、国の最重要プロジェクトである大宝律令の原文を刑部親王、藤原不比等らとともに選定。その功績として、兵部卿(大臣)などを歴任し、古代国家として歩み始めた日本の屋台骨をささえました。下毛野氏の寺として創建された下野薬師寺は、その後、国立寺院として改修が行われ、東国筆頭の寺として隆盛を極めます。

天平13(741)年の国分寺建立の詔をはじめとする聖武天皇の仏教政策の進展により、唐(中国)式の正式な受戒作法を広めるため、奈良時代中頃に鑑真が招来されました。受戒とは正式な僧になるための儀式で、その受戒の場である戒壇が、国の仏教政策の中心となる東大寺・筑紫観世音寺・下野薬師寺におかれまして。

「東の飛鳥」と呼ばれる下野市は、日本という国が誕生した飛鳥時代に東国シモツケの中心として栄えた地域。時空を超える旅がここからはじまります。

Information

場所
栃木県下野市薬師寺 1636

電話
TEL.0285-32-6105 (下野市教育委員会文化財課)

C-3

下野薬師寺歴史館

下野薬師寺跡に興味を持った方は、下野薬師寺歴史館へ。同館は下野薬師寺跡の南西に隣接した下野薬師寺のガイダンス施設。下野薬師寺に関する文献史料をはじめ、発掘調査の成果をもとに製作された復元模型などの展示、下野薬師寺の歴史をわかりやすく解説している映像など、より詳しく紹介しています。

Information

場所
栃木県下野市薬師寺 1636
電話
0285-47-3121
開館時間
9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 分まで)
定休日
毎週月曜日 (休日の場合はその翌日)
第3火曜日 (休日の場合は除く)
休日の翌日 (土曜日・日曜日・休日の場合は除く)
年末年始 (12月28日 ~ 1月4日)

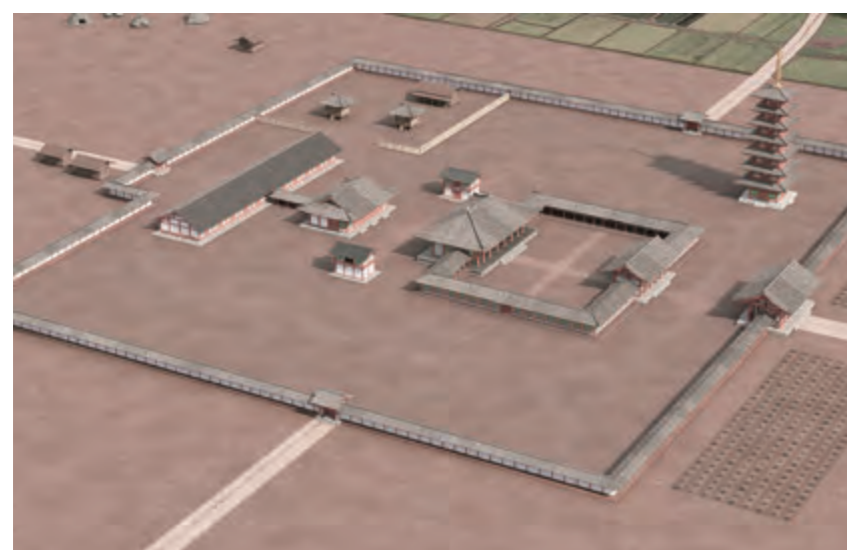
C-3



古代の下野薬師寺の東金堂 (CGによる再現)

天平の 風を感じて。

「国分寺」。栃木県だけでなく、東北地方から九州、佐渡、壱岐などの各地にこの地名があるのが不思議ではありませんか？それは、奈良時代中頃の741年に聖武天皇が諸国に国分寺と国分尼寺を造るよう命じたからなのです。「咲く花の匂うごとく」と例えられた天平時代は、幾度も自然災害や伝染病に見舞われた時代でした。そのため平城京に東大寺を建立し、世界最大の鑄造仏を安置し、同様に法華寺を建立しました。この東大寺と法華寺は、全国に配置された国分寺と尼寺の本社のような役割で、総国分寺と総国分尼寺と称されました。「国分寺建立の詔」には、各地に建立する国分寺は、災害が少なく人が集まりやすいような、その国で一番良い場所を選ぶよう命じられていました。国分寺や尼寺の僧たちは仏教の教義だけでなく医学や薬学、土木や農業の知識などにより庶民の救済も行いました。1200年以上も前からの歴史に思いをはせながら、国分寺跡や尼寺跡で古代の風を体感してみませんか。



CGによる再現

下野国分寺跡・下野国分尼寺跡

下野国分寺跡は国指定の史跡で、全国60数カ所に立てられた国立の寺院の一つです。発掘調査により、伽藍（寺の建物）配置は、全国の総国分寺である奈良の東大寺と同じ形式（東大寺式）だということが判明。塔は回廊の外側東方に置かれ、基壇の規模から七重塔であったと推定されています。

下野国分尼寺跡（国指定史跡）は下野国分寺跡の東方約600mのところであり、国分寺と同様に東大寺式ですが、塔は造られていません。下野国分尼寺跡は、主要伽藍の基壇と礎石が復元表示され、現在は史跡公園として整備されています。

Information

場所
下野国分寺跡：栃木県下野市国分寺 872
下野国分尼寺跡：栃木県下野市国分寺 686

電話
TEL.0285-32-6105（下野市教育委員会文化財課）

A-3



古代の下野国分寺の七重塔（CGによる再現）

しもつけ風土記の丘資料館

しもつけ風土記の丘資料館は、下野国分寺跡、下野国分尼寺跡を含む天平の丘公園の中心にある施設。古墳時代から奈良時代を中心に下野市の歴史を、パネルや映像、貴重な資料を通して分かりやすく紹介しています。下野国分寺跡の南西部に隣接する全長約80mの帆立貝形前方後円墳である、甲塚古墳。同古墳出土遺物が、平成29（2017）年に国の重要文化財となり、しもつけ風土記の丘資料館で展示されています。周辺には、下野国府跡、下野国分寺・下野国分尼寺、下野薬師寺跡や大小の古墳が数多く存在することから、下野市周辺は下野国の中心的な地域であることを実感できます。

Information

場所
栃木県下野市国分寺993

電話
TEL.0285-44-5049

開館時間
営業時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）

定休日
毎週月曜日（休日の場合はその翌日） 第3火曜日（休日の場合は除く）

休日の翌日（土曜日・日曜日・休日の場合は除く） 年末年始（12月28日～1月4日）

A-3

せせらぎを聞きながら、水辺を歩く。

心を潤すのは、水の音が聴こえる、美しい景色。

旧石器時代や縄文時代の生活の跡が確認され、古くから人々が生活していたと考えられている上三川町。それが単なる想像ではないことを裏付けるのが、その地勢にあります。上三川町には東に鬼怒川、中央に江川、西よりに田川の3つの清流があり、それぞれ南流しています。「水辺に文化は育つ」と言われますが、それぞれの美しい水辺の恩恵を受けながら人々は生活

していたのでしょう。

ご紹介する磯川緑地公園と水環境神主公園は、どちらも水と緑が織りなす風景に包まれた美しい公園。水のせせらぎ、水面の輝き、鳥のさえずり、季節の植物の美しさ…。歩くたびに五感が優しく刺激され、清々しい気持ちにさせてくれます。

磯川緑地公園 いそかわりよくちこうえん



公園内には、きれいな水が流れる磯川沿いに木の遊歩道が配られています。鳥の鳴き声、川のせせらぎ、きらめく魚影。まさに五感を喜ばせてくれる環境です。この遊歩道は、片道約1.4 km。およそ30分の所要時間なので、体に負担をかけずに、無理せず散歩が楽しめます。休憩やお弁当を食べるなら遊歩道の中間地点にある「せせらぎ広場」や、2箇所ある東屋がおすすめ。「栃木の自然100選」に選ばれています。

Information

D-2

場所
栃木県河内郡上三川町上郷 2166-1(北駐車場)
上郷 1917 (南駐車場)
電話
0285-56-9136 (上三川町農政課)

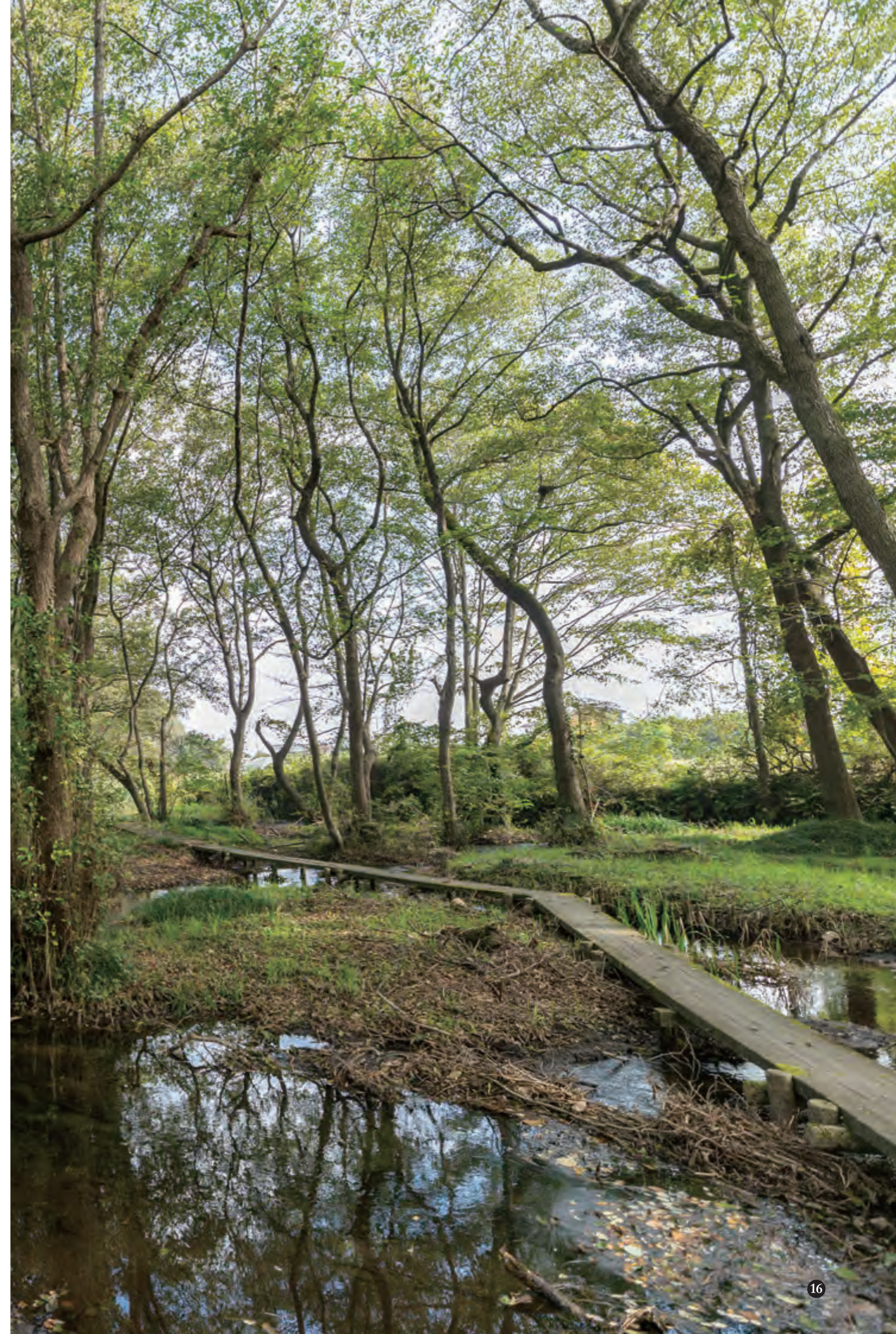
水環境神主公園 みずかんきょう こうめしこうえん

もともとあった美しい自然環境を活かしながら、県営水環境整備事業で水辺空間が整備された親水公園です。生態系を重視して整備されているので、魚類、鳥類、昆虫などが生息。シダレザクラ、ハナミズキ、ツツジ、ハマナス、フジなど四季折々の花々を鑑賞しながら、片道約800mの遊歩道を散歩できます。上流から「わんぱくゾーン」、「ふれあいゾーン」、「いきものゾーン」の3つのゾーンにわけて整備されています。

Information

C-2

場所
栃木県河内郡上三川町下神主 395
電話
0285-56-9136 (上三川町農政課)



河川敷の広場で、アクティブに。

桃畑緑地公園

野球場が3面、サッカーもできる運動広場が2面、そしてサイクリングロードなどもある、広大さが魅力の桃畑緑地公園。子供たちが一生懸命に野球やサッカーで汗を流している姿をみれば、自分もきつと体を動かしたくなるはず。また春には美しい桜に包まれるスポットとしても有名で、満開の桜の花々を見ながらのウォーキングもおすすめ。公園の南側には無料で使用できるバーベキュー広場が隣接しています。



Information

D-2

場所
栃木県河内郡上三川町上郷88
電話
0285-56-9146 (上三川町都市建設課)

植物の色、匂い、川の流れて季節を感じる、贅沢な環境。

若葉が芽吹いた鮮やかな色で春の訪れに気づき、新緑の匂いで夏を、樹木の香りで秋の深まりを知る。クリスマスツリー用に松ぼっくりを探している時に、本格的な冬の訪れを感じる。私たちは同じ天気、同じ気温でも、自然の色や匂いにより季節の違いを感じることができます。そんな四季の移り変わりを身近に意識することができる場所といえば公園。季節に合わせた過

ごし方を楽しめます。中でも河川敷に設置された公園は水のあふる景色に魅了され、気分が高揚してしまう人は多いのではないのでしょうか。水を感じる蓼沼親水公園、桃畑緑地公園、田川ふれあい公園。アクティブに体を動かしたくなる環境で、さあ、心からリフレッシュを!

田川ふれあい公園



田川に隣接する田川ふれあい公園には、気軽にプレイできる「パークゴルフ」の本格的なコースが2コース完備されています。クラブやボールの貸し出しもあり、初心者でも気軽に楽しめる環境が整っています。また、屋根付きの2区画も含めたバーベキュー広場も4区画あります。田川を望みながら食べるバーベキュー料理は、格別な味わいです。

Information

C-3

場所
栃木県河内郡上三川町川中子 30
電話
0285-52-2227 (田川ふれあい公園管理事務所)
利用可能時間
8:00 ~ 16:30 (5月~10月) 9:00~16:00 (11月~4月)
定休日
月曜日、年末年始 (12月29日~1月3日)



蓼沼親水公園 たてぬましんずいこうえん

多目的ゾーン、鑑賞ゾーン、親水ゾーン、保全観察ゾーンの4つからなる、蓼沼親水公園。親水ゾーンは長さ約140m、水深15センチのジャブジャブ池が流れていて、子どもの水遊びには最適。多目的ゾーンにはステージや芝生広場があり、グラウンドゴルフ等、多目的に利用することができます。鑑賞ゾーンには約2,900m²の池があり、花期には美しい花々、八つ橋からは池の魚たちを観察できます。保全観察ゾーンは河川環境保全や自然の復元を目的に整備されています。

Information

D-1

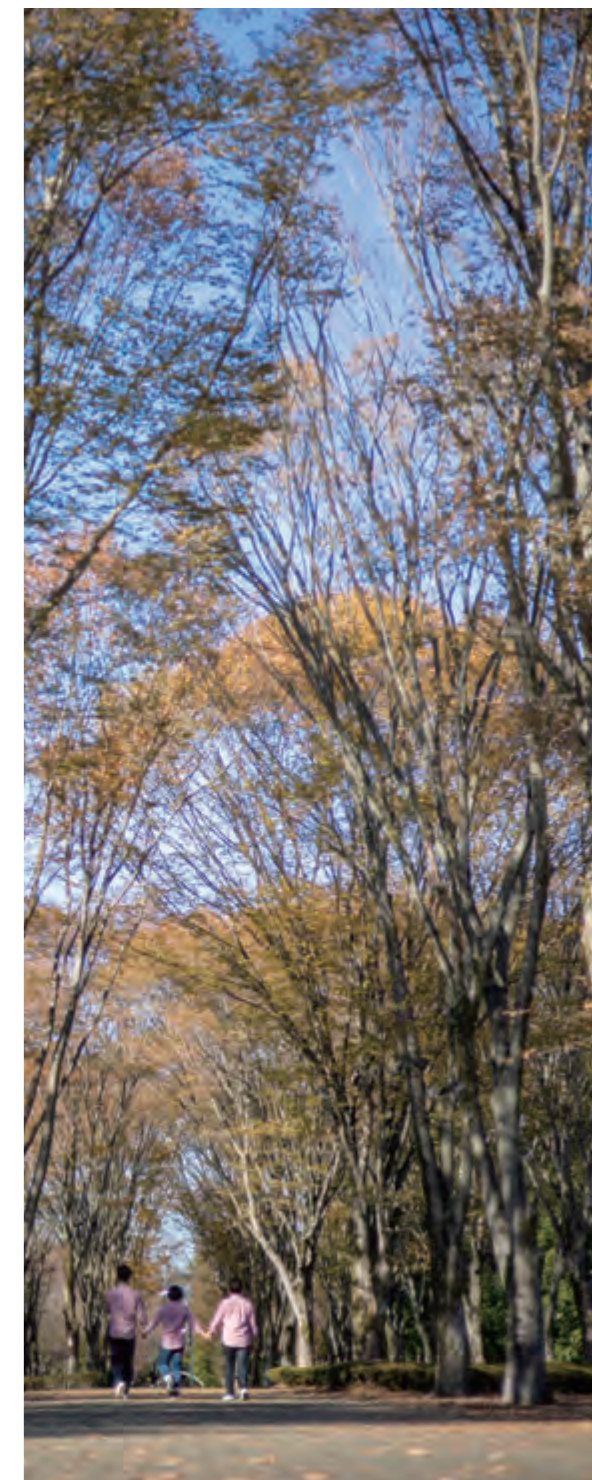
場所
栃木県河内郡上三川町東蓼沼1013
電話
0285-56-9146 (上三川町都市建設課)

公園から 始まる一日。

陽の光の下で過ごす日常は、
いつもより楽しくて、
美味しくて、気持ちいい。

青空の下での朝食やお弁当は、とても美味しく
いつもより、箸もフォークもすすむ。
ノートPCを持参して、コーヒーを飲みながら仕事をすると
サクサク作業が進み、予想以上にはかどる。
子供たちが遊具で遊んでいる間は映画鑑賞をしたり
陽の光を明かりにして、お気に入りの一冊を読んだり。
内容を知っているはずなのに、より大きな感動を覚える。

不思議ですね。
いつもの日常を公園で過ごすと、
ワクワクして何倍も楽しく感じる。
壬生町には広大な公園があります。
今度の休日は、近くの公園へ出かけて
非日常を過ごしてみませんか。



とちぎわんぱく公園

名称に「わんぱく」とついています。大人も存分に楽しめる37.2haもある広大な敷地を誇る県営の公園。面積7,640m²の「夢花壇」では、チューリップやパンジー、ダリア・サルビアなど、春夏秋冬1年を通して多種の草花を鑑賞できます。芝生広場「風の原っぱ」では、お弁当を食べた後、子供の頃に大の字に寝て青空を見上げる。そんな解放的な気分させてくれる広い芝生です。景色が美しいので、公園内をただただ歩くだけでも爽快!

Information

場所
栃木県下都賀郡壬生町国谷 2273
電話
0282-86-5855
営業時間
8:30~18:00 (10~3月は~17:30)

A-2



壬生町壬生総合公園

壬生町おもちゃ博物館の東側に隣接している、49haの広大な自然公園。その中に、天然芝のピッチ、メインスタンドは屋根付き個席の本格的な陸上競技及びサッカー兼用のスタジアムがあり、週末は大会も開催されています。芝生広場には大きなアスレチック遊具もあるので、子供達も一日中、大満足。3月から5月にかけて、数字の語呂読み「いいこ」にちなみ115匹の鯉のぼりが設置され、大迫力で泳いでいる姿を鑑賞できます。また同公園は、有数の桜の名所として地域の人に知られる場所。ソメイヨシノ、ヤエザクラ、ヤマザクラなど約50本の桜が植えられ、春先は花見客で賑わいをみせています。

Information

場所
栃木県下都賀郡壬生町国谷 783-1
電話
0282-81-1854 (壬生町都市計画課)
営業時間
8:30~17:00

A-2



公園に息づく 時の流れ。

悠久の時を感じながら、 「今」を忘れるひととき。

「おもちゃのまち」として有名な壬生町ですが、実は「歴史の町」という表情も併せ持っています。戦国時代、壬生氏が治めていた壬生町は、江戸時代には壬生藩の藩都として政治の中心で、日光西街道が通る交通の要所でした。そんな歴史ある風情たっぷりの地に立つと、自然と郷愁をかきたたられ遙か昔に想いを馳せたくくなります。想像力が働いたり、もっともっと調べたくなったり。会った事もない人の生き方や、当時の世相を考える楽しさが、歴史にはあるんですね。身近な公園で、しばし「今」を忘れてくつろいでみませんか。



壬生町東雲公園 みぶまちしのめこうえん

黒川沿いに整備された東雲公園は、桜の名所としても親しまれている場所です。黒川の両岸に咲く桜は雄大で美しく、「とちぎ景勝100選」にも選出されています。東雲公園内の黒川両岸を結ぶ歩行者専用の「東雲さくら橋」から見る、川面に映る桜も圧倒的な美しさ。この橋を渡ると雄琴神社があります。雄琴神社は、寛治5(1091)年、天照大御神、天武天皇、舎人親王をご祭神に、鎮守府将軍の子孫によって創建されたと伝えられている神社で、壬生町の総氏神、総鎮守として称えられています。銅製の鳥居は、栃木県指定文化財になっています。



Information

場所
栃木県壬生町壬生甲 600
電話
0282-81-1854 (壬生町都市計画課)

A-2

壬生町城址公園

文明年間に壬生綱重によって築城された壬生城。日光東照宮を参拝する徳川將軍家の宿城として利用されたそうです。現在、建物は遺っていませんが、壬生城本丸南側には土塁と堀が遺っており、当時の姿を知ることができる貴重な歴史的遺構。他にも、二の丸虎口跡には城門、石垣も復元されています。また、堀の内側に推定樹齢180年のエドヒガンザクラが植えられており、満開時は圧巻。町内で一番最初に咲くとも言われている桜です。美しい噴水と堀を眺めながらゆったりとした時を過ごせます。



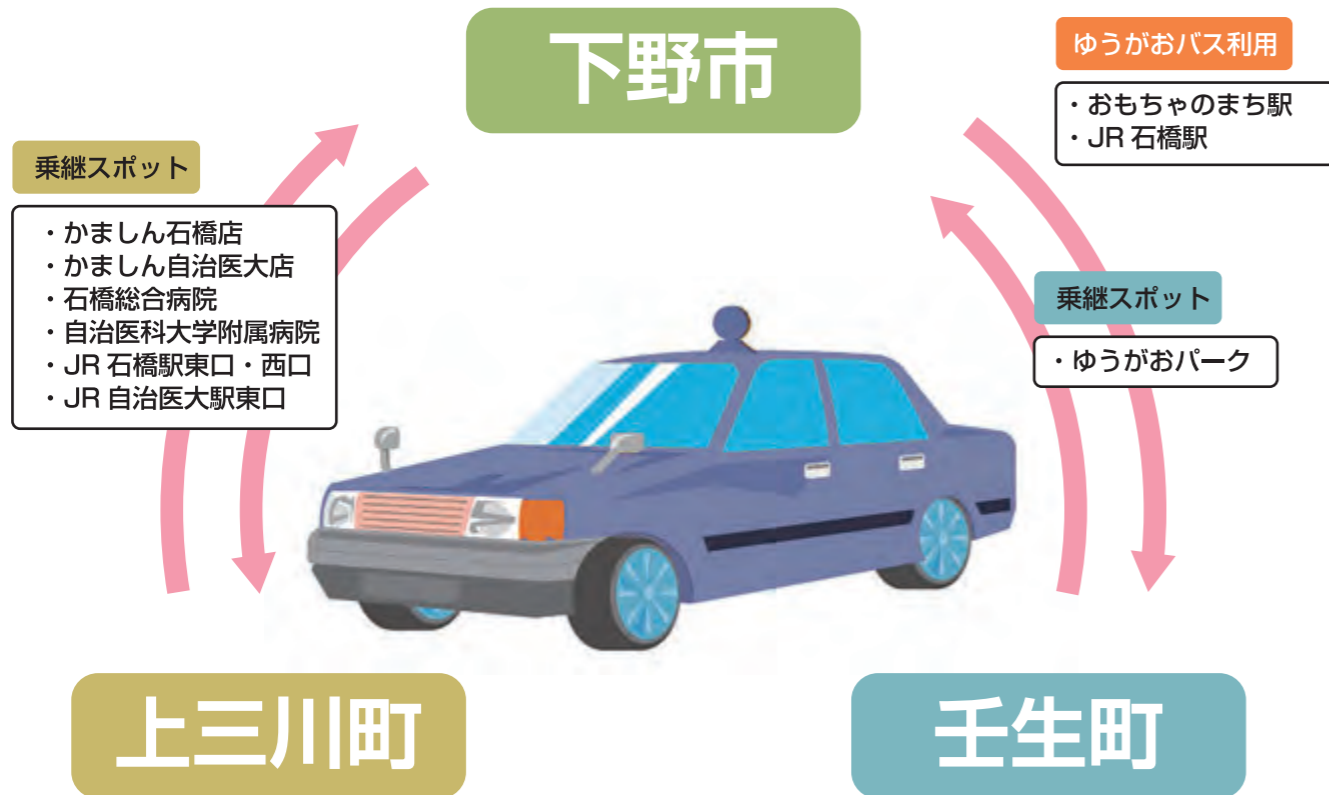
Information

住所
栃木県壬生町本丸 1-8
電話
0282-81-1854 (壬生町都市計画課)

A-2

1市2町のデマンド交通が

相互利用を開始しました!



ご利用にあたって

- ・それぞれの市町に事前の利用登録と予約申込が必要です。
- ・各町町のデマンド交通の運行エリアは変わりません。
- ・市町をまたいだ利用の場合は乗り継ぎが必要です。
- ・降車の際にそれぞれ既定の利用料金をお支払いください。
- ・その他、各市町のデマンド交通の利用方法をご理解の上、ご利用ください。

地元の足として活躍しているデマンド交通。これまで各市町住民の方に利用が限られていましたが、2021年10月1日から、地元以外の方のデマンド交通利用が可能になりました。例えば、下野市の方がみぶまるに、上三川町の方がおでかけ号に、壬生町の方がかみたん号に乗車できます。利用の幅が広がったデマンド交通を是非ご利用ください。

下野市 「おでかけ号」



ご利用方法の動画をご覧ください。



- 利用登録先 下野市安全安心課 0285-32-8894
- 利用料金 中学生以上 300円 小学生 200円 未就学児無料
- 予約申込先 予約受付センター 0120-11-1646 0285-38-9705 7:00～18:00

壬生町 「みぶまる」



ご利用方法の動画をご覧ください。



- 利用登録先 予約受付センター 0282-81-1132
- 利用料金 中学生以上 300円 小学生 100円 未就学児無料
- 予約申込先 予約受付センター 0282-81-1132 7:30～17:30

上三川町 「かみたん号」



ご利用方法の動画をご覧ください。



- 利用登録先 上三川町地域生活課 0285-56-9129
- 利用料金 中学生以上 300円（石橋駅以外の町外施設は 450円）小学生 150円 未就学児無料
- 予約申込先 予約受付センター 0120-272-315 8:00～17:00

壬生町ルート

距離 24km 所要時間 100分

壬生町中心街—わんぱく公園、
総合公園—獨協医科大学—おもちゃのまち—グリムの森—国道 352 号線

壬生町

下野市

下野市ルート

距離 24km 所要時間 100分

グリムの森—大松山運動公園—自治医大—天平の丘公園
—姿川サイクリングロード

県南地域
モデルルート(案)

県東地域
モデルルート(案)

上三川町

上三川町ルート

距離 27km 所要時間 110分

上三川町役場—グリムの森—ゆうぎが丘—石田—日産栃木工場北門—夢沼親水公園
※【上三川七福神めぐり】も兼ねたルートです。



しかみみサイクリングルート

それぞれの街の見どころを楽しみながら、気持ちよく走れるルートです。
それぞれのルートを走るもよし、接続ポイントをうまくつないで隣町を走るもよし。
自信のあるあなたは、全ルート走破にチャレンジ!

自転車は安全に運転しましょう

- 所要時間は目安となっております。
- 自転車は車道の左側を走行しましょう。
- 自転車歩行者の標識がある場所では、歩行者を優先して走行しましょう。
- ヘルメットを着用して走行しましょう。
- 飲酒運転は禁止されています。



しかみみマップ MAP



1

2

3

2

3

A

B

C

D

A

B

C

D



し
もつけ
か
のかわ
み
ぶ
プレス
SHIKAMIMI PRESS

発行●1市2町広域連携バス実証運行事務局
(下野市安全安心課・上三川町地域生活課・壬生町総合政策課)

掲載施設の最新情報は、ホームページ等をご確認ください。

2022年3月発行